

令和7年度 第10回 教育委員会

日時 令和8年1月9日(水) 15:30~16:30

場所 綾町公民館・少年文化ホールC会議室

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	高松 公俊
	教育委員	横山 槇子	教育総務課長	野村 敏幸
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	佐藤 光久
	教育委員	山口 昇(欠)	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	麻生 昌秀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			社会教育課係長	井上 隆広
			教育相談員	南正覚 雅士
			議事録	古高 望

傍聴者 0名

○開会の挨拶

○開会及び教育委員の任命

昨年12月の議会で承認された柿田美香委員への辞令交付を行った。

(令和7年12月25日付)

○教育長挨拶

(教育長)

奨学金制度の拡充や高校入試等について触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

(教育総務課 係長)

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

(社会教育課 係長)

教育総務課と同様、行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

○その他

(教育相談員)

小・中学校の児童生徒等の状況について説明を行った。

小学校の不登校(長期欠席)は実質10名、いじめ認知件数は累計63件(解消率50.8%)

となっている。気になる事案として、弟妹の世話を取られているヤングケアラーと思われる児童が1名おり、定期的なカウンセリングを行っているところである。中学校の不登校は19名、いじめ認知件数は10件（解消率40%）。また開設6年目となる、てるは教室（適応指導教室）では、現在「給食」をきっかけに学校復帰につながる生徒がいる。支援員との信頼関係を築いた後、給食の時間だけ登校し、担任や同級生と交流することで少しずつ学校に慣れさせる取り組みである。

（教育総務課 主幹）

熊本県高森町視察研修について。

教員が相手校の教員に1日密着する「ジョブシャドウイング」形式で視察を行った。高森町では、デジタルサイネージでの情報共有や、3年生からのデザインツール（Canva）活用、2年生からのタイピング練習などが日常的に行われている。重要なのは、「ペーパーレス」を目的にするのではなく、子供に合わせた教材の選択肢としてICTを使っている点である。子供たちが自分で計画を立て、振り返りを行う「子供主体の授業」を綾町でも目指していきたい。

（教育委員）

この多様性の時代に、「紙を選ぶ」という選択肢が減ってしまうのは不安なことである。

（教育総務課 主幹）

高森町でも、自分の考えを紙に書くということの大切さを説いていた。

（教育委員）

紙は「目」で確認ができるため、記憶に残りやすい。選択肢として残しておくのは大切である。

（教育総務課 主幹）

綾町立学校の教育職員に関する業務管理・健康確保措置実施計画（案）について。

来年4月から実施する「業務管理・健康確保措置実施計画」を策定しています。計画では、2027年までに時間外労働45時間を超える割合を30%以下に下げ、有給休暇15日以上の取得、働きがい80%以上になるよう目指す予定である。業務を「教員の仕事」「外部に任せる仕事」「地域が担う仕事」の3つに分類し、部活動の地域移行や事務作業の効率化を進めます。なお、本日の説明動画は全てAIが5分程度で作成したものであり、教員の事務負担を軽減する具体例として示させていただきました。

（教育長）

AIの活用も含め、様々な改善を図っていきたい。

○閉会